

令和８年度 食育推進検討部会 会議録	
日 時	令和８年 7 月 17 日（金）午後 6 時 30 分～ 8 時 30 分
開 催 場 所	市庁舎 18 階みなと 6・7 会議室
出 席 者	食育推進検討部会委員 12 人（別添資料 1）
欠 席 者	食育推進検討部会委員 3 人
開 催 形 態	公開（傍聴者無し）
議 題	1 開会 2 あいさつ 3 委員紹介及び部会長選出 4 議事 （１） 横浜市食育推進計画（第 3 期）の目標及び指標について （２） 横浜市食育推進計画（第 3 期）の目標に関連する取組について 5 報告 ハマの元気ごはん提供店登録制度の取組状況について 6 情報提供 （１） 第 22 回食育推進全国大会について （２） 第 5 次食育推進基本計画について
1 開 会	
2 あいさつ	
3 委員紹介	
4 議 事	（議事 1） 横浜市食育推進計画（第 3 期）の目標及び指標について （資料 3） （事務局） 資料説明（資料 3） （金子部会長） ご意見、ご質問があればお願いしたい。 （岩本委員） 目標値を決めたときに、国の目標にならってということで決めていたと思うが、これについては、国の数値はなかったのか。 （事務局） 食育推進基本計画の指標を参考に、横浜市教育振興基本計画についても設定している。 （岩本委員） 同じ指標で目標値を変更するということか。 （事務局） 指標と目標がそれぞれ変わる。 （岩本委員） 項目が変わってしまうのがどうなのかと思った。

(事務局)

横浜市教育振興基本計画と連動させた形で進めるのがよいかと考えた。

(岩本委員)

目標値に到達していないと、それに縛られてしまうことがある。新しい指標では、目標が80%と低くなっているのです、よいかと思う。変わったことをしっかり覚えておくことが大切だと思う。

(池本委員)

小・中学校で食育をやっているが、いろいろなツールができていて、手軽にとれるサプリメントなども増えている。知識があっても、行動が伴っていない方も多いので、変更するのはよいと思う。

(君塚委員)

「実践しようとしている」から「実践している」に変更になったことは理解した。他の指標においても「しようとしている」という表現があったと思うが、その他の指標についても確認が必要なのではないか。

(長島委員)

「実践しようとしている」であれば回答しやすいが、「実践している」となると結果が伴わなければならないので、より厳しい指標だと思う。逆に、実際に行動している児童生徒が80%いるのであれば非常に評価できる内容だと思う。

また、指標が変わった経緯については、今後資料等で分かるように示していただけると良いと思う。

(事務局)

今年度作成予定である横浜市食育推進計画（第3期）の概要版で明記していきたい。

(菅委員)

目標値を小・中学校で分けたほうがよいのではないかと思います。なぜ一つにまとめたのか知りたい。

(事務局)

集計自体は小学生・中学生で分けて実施している。

公表する際は全体として示しているが、内部ではそれぞれのデータを把握している。

(君塚委員)

「している」が少なかった場合に、「しようとしている」のはどれくらいいるのかが気になる。調査の項目はどのようなになっているのか。

(事務局)

調査の文言自体が変更になっているため、「実践しようとしている」割合は把握していない。

(君塚委員)

実践していない児童生徒について、どのような理由があるのか把握することも

	大切だと思う。知識としては理解しているが実践できていないのか、そもそも関心がないのかによって対応が変わると思う。 (事務局) その点についても今後状況を確認しながら、必要に応じてご報告していきたいと思う。 (金子部会長) 今後、事務局において、教育委員会と一緒に検討してほしい。
	【議事２】横浜市食育推進計画（第３期）の目標に関連する取組について (資料４・資料５) (事務局) 資料説明（資料４・資料５） (金子部会長) それでは、資料５について、各委員から所属する団体の取組について紹介してほしい。 (池本委員) パマトコの活用が活発になってきていると感じる。今後もさらなる活用が進み、活動の成果や取組内容が見える化されていくとよいと思う。歯科については、乳幼児健診などの場へ出向いて情報提供や啓発を行っていただけることは大変有意義であり、今後も継続してほしい。 また、ＡＩに相談する人が増えているが、誤った情報が含まれる場合もあるため、専門職と対面で相談できる機会も引き続き重要だと考える。 ベジチェックについては、実際に体験できる取組であり、とてもよいと思う。 中学校給食については、全員給食となった一方で、異物混入に関する問題が気になっている。関係機関が連携しながら課題解決につなげていただきたい。 また、みなとみらいに分身ロボットカフェができると聞いているが、障害のある方を対象とした取組も大切であり、今後の展開に期待したい。 ハマの元気ごはん提供店登録制度については、若い世代を含め、より幅広い世代へ普及・拡大していくとよいと思う。 (今井崎委員) 歯科医師会では、乳幼児期からの口腔機能の発達を重視している。食べる機能の形成は授乳の段階から始まることを、妊婦の時から啓発している。 発達段階に応じた適切な食形態を経験することが重要である。市販の離乳食は月齢ごとの平均的な発達に合わせて作られているが、子どもの発達状況には個人差がある。保育園等ではそのような対応が難しい場合もある。 そのため、歯科医師会では妊婦歯科検診や乳幼児健診などの機会を通じて、保護者への情報提供や啓発を行っている。現在は虫歯予防だけでなく、「しっかり食べられる子どもを育てる」という視点を重視し、口腔機能の発達支援に取り組んでいる。

また、高齢者の 8020 達成者を対象としたアンケートでは、多くの方が毎日 3 食をしっかりと摂取しており、食べることを大切にしている実態が明らかとなった。こうした結果も踏まえ、子どもたちに対して歯や口の健康、そして食事の大切さを、あらゆる場面で伝えていきたいと考えている。

(岩本委員)

取組の対象とするライフステージは、ほぼ網羅している。目標は中心となる目的にのみ入れていたが、該当するものすべてに入れておいてもよいと感じた。

災害時のバッククッキングの普及にもかかわっている。高齢者や持病のある方がいるときにどういう風に動くかなどのシミュレーションをやっている。

(君塚委員)

工場見学について、地域の小・中学校の要望が増えている。食品衛生や食に関する話をする機会になっている。今後は、食育についても入れていけたらと考えている。

レストランでは、メニューに少し工夫を加えハマの元気ごはん提供店の登録に至った。

食品衛生協会を通じて食中毒予防、食の安全に関する PR をしている。

ローリングストック法の啓発のためのセット商品の販売をしている。

食品ロス削減のため余剰品などを使った弁当を作っていたが、現在では、ロスを発生しないような仕組みづくりを進めている。ロスが発生した場合の有効活用についても並行して実施していく。

(小野委員)

近隣小学校に出前授業を継続して実施しており、出前授業では、野菜ソムリエプロの資格をもっている社員を講師として派遣している。

今年度は市内小学生を対象としたポスターコンクールを実施予定。市場まつりで絵を描いてもらい、コンクールに参加してもらう試験的な取組をする予定である。

また、野菜や果物の摂取促進についても積極的に情報発信していく予定。

(菅委員)

ローリングストックを応用した料理教室など実施している。

はまふうどコンシェルジュとしては、簡単なものでよいので手作りですることや、家で食べることを進めていきたい。

(長島委員)

居場所づくりカフェにおいて、卒業生とのつながりから新たな取組が生まれている。川崎市の卵生産業者に勤める卒業生が、高校内の地産地消をやっているところに興味を持ち、食品残渣を企業から回収して鶏の飼料として活用し、地域で循環する仕組みづくりに関わっている。中学生を対象とした地域課題や循環型社会について講義をするなど学ぶ機会にもなっており、人材育成の循環も生まれている。

また、防災備蓄食品やフードバンクから提供された食品を活用し、子どもたちが調理や食支援に関われるよう活動している。若い世代が将来困らないよう、自ら食

を支える力を身につけることを目指している。

(守屋委員)

小学校への出前授業として、米づくりに関する学習支援を実施している。田植えから収穫、精米までの工程を体験する機会を提供しており、令和7年度も多数の学校から依頼を受けた。

また、学校給食への地場農産物供給にも取り組んでいる。令和7年度はキャベツを中心に学校給食へ供給を行った。令和8年度についても、市内産農産物の供給拡大に向けて調整を進めている。

さらに、直売所における地産地消推進、行政との連携販売、料理教室の開催などにも継続して取り組んでいる。

フードドライブについても地域団体と協力し、お米の寄付活動を実施している。

(吉泉委員)

学校給食を通じた食育事業を実施している。ファミリー料理教室では、家庭で学校給食を再現する機会を提供している。試食会新プロジェクトでは、学校主催で実施している。保護者に対し、給食、調理の過程を伝えることにより、行動に移す動機付けをするということをめざして活動している。応募倍率が高い事業も多く、市民の関心は高いが、関心の高い層と低い層の二極分化しているようにも感じている。

中学校給食について、全員給食方式が開始された。財団では市から委託を受け、食材調達および配送管理を担っている。全市規模で約8万人分の給食を毎日提供する全国最大規模の事業である。市内外の調理事業者、中継配送センター、輸送事業者、各中学校が連携しながら運営している。学校ごとの配送管理や品質管理、食材供給を継続して行っている。

なお、食育事業については小学校のみを対象としているため、中学校を含めるとなると別途検討が必要であることから、教育委員会とも情報共有をしていく。

(米山委員)

すべてのライフステージを対象に食育啓発に取り組んだ。特に自然災害発生時の食の備えに関する啓発活動では、多くの市民へ情報提供することができた。小学校、中学校、キッズクラブ等での食育活動も実施しているが、学校現場で活動できる機会は限られている。今後は子ども向け食育活動の機会拡大も必要であると考えている。

また、訪問型・対面型による個人活動も継続して実施している。より多くの方にヘルスメイトの活動に参加してもらうため、区役所で実施する養成講座にもかかわっている。

(金子部会長)

各団体の取組について、ご感想をお願いしたい。

(天貝委員)

各団体の取組内容を知り、大変勉強になった。横浜市医師会として直接食育を進

	めていくという取組はないが、学校保健や健診などで関わっているなかで、市民に貢献をしていきたいと考えている。 (金子委員) ご意見、ご質問等あればお願いしたい。 (岩本委員) 各団体の活動内容について理解を深めることができた。 特に中学校給食は、食育推進の観点から非常に大きな意義がある。横浜市にとって、目標達成のために画期的なこと。親子のイベントや食育講座をやっているが、中学校の食育を担うのは誰か。担い手がいないと感じる。 一方で、給食を提供するだけでなく、実際に食べているかどうか、食育としてどのような効果が出ているかを把握する必要があるのではないか。喫食状況や残食の実態なども今後確認すべき重要な課題であると考えてる。 また、保護者の負担金については、冷蔵管理なども食費に入っているのか。食材費だけなのか。 (吉泉委員) 保護者負担金は実費用ではないと聞いている。喫食状況や食育効果については教育委員会とも共有しながら検討していく必要がある。中学校給食は始まったばかりの事業であり、今後改善を重ねながら発展させていく段階であると考えてる。 (岩本委員) 食育の目標を達成するために、給食とも連携していけたらと思う。 (金子部会長) 各団体の話を聞く中で、連携によってさらに発展できる取組も多いと感じた。年1回の会議ではあるが、今後も情報共有を続けていきたい。 (長島委員) 居場所づくり事業では、フードバンクから提供されるお米が非常に役立っている。経済的に厳しい家庭の子どもたちにとって、お米は特に喜ばれる支援物資である。夏休み前には食料配布も実施したが、多くの子どもたちや保護者が喜んでいた。今後も連携をお願いしたい。 (守屋委員) フードドライブ活動には多くのボランティアが参加しており、地域全体で支え合う仕組みができている。今後も継続して協力していきたい。 (君塚委員) 中学校給食に関しては、目標指標が「栄養バランスを考えて食事をしている児童生徒の割合」になるのであれば、給食を実際に食べているかどうかの把握も必要になるのではないか。 (吉泉委員) その点については教育委員会とも共有しながら検討していきたい。
--	--

5 報 告	【報告】ハマの元気ごはん提供店登録制度の取組状況について (資料6) (事務局) 資料説明(資料6) (金子部会長) ご質問、ご意見があればお願いしたい。 (長島委員) スタンプラリーのような仕組みがあると、市民が参加しやすくなるのではない か。学生や若い世代にも興味を持ってもらえると思う。 (事務局) 対象世代に応じた仕掛けづくりは重要である。今後の参考にしたい。 (金子部会長) 本日の議事、報告は以上とし、進行を事務局に返す。	
6 情報提供	(1) 第22回食育推進全国大会について (事務局) 資料説明(資料7、参考資料1) (2) 第5次食育推進基本計画について (事務局) 資料説明(参考資料2) (金子部会長) 決定された第5次食育推進基本計画の内容を確認したところ、すでに横浜市食育 推進計画(第3期)において網羅されていると思われる。引き続き、各団体、行政 が連携し、計画を推進していければと思う。	
閉会	(事務局) 当検討部会は、令和7年度から年1回の開催へと変更になっているため、今回の みの開催となる。来年度の開催は、今年度と同じく7月頃を予定している。 次回の開催までの期間中も、食育の推進に関して情報共有すべき内容等があれ ば、ぜひ御連絡等いただきたい。	
資 料	資料1	健康横浜21推進会議 食育推進検討部会 委員名簿
	資料2	食育推進検討部会設置要綱
	資料3	横浜市食育推進計画(第3期)の目標及び指標について
	資料4	横浜市食育推進計画(第3期)の目標に関連する取組(横浜市)
	資料5	横浜市食育推進計画(第3期)の目標に関連する取組
	資料6	ハマの元気ごはん提供店登録制度の取組状況について
	資料7	第22回食育推進全国大会について
	参考資料1	第11回食育活動表彰
	参考資料2	第5次食育推進基本計画 概要

